

町民インタビュー



かずま
KAZMA
おかだかずま
(岡田和磨) さん

[森部在住]

安八町を拠点に、全国でダンスの振付やインストラクターとして幅広く活躍されているKAZMAさんにお話を聞きました。

(12月18日)

聞き手／岩田 譲治
石原 英一
坂 渡邊 裕光



パフォーマンスをユーチューブ（「ゆったりずむ」で検索）に発信することもあるが、全国のダンス教室に向いて教えることもあり、有名アーティストの振付や演出まで活動範囲は多岐にわたり活躍されています。

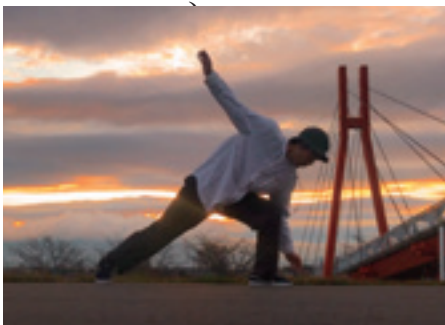
——ダンスを始めたきっかけは。

岡田さん 音楽家の母が自宅で歌う声やピアノの音に合わせ、3歳の時から習っていた少林寺拳法（世界大会優秀賞の実績も）の型をベースに身体を動かすことが好きな子どもで、ある時少林寺拳法に入ってきた子から私の身体の動かし方はダンスだと教えてもらったことがきっかけです。

——習ったことは。

岡田さん ありません。独学です。

——独学でどのようにしていたストリートダンサーから声を掛けられました。その人は世界大会入賞実績のある人で、行動を共にしながら、ダンスバトルイベント



自宅近くの橋をバックに踊るKAZMAさん

トに出場し、多くのタイトルを獲得しました。それからは、ダンスショーの出演、ダンスインストラクターやアーティストの振付を頼まれるなど仕事になっていきました。

——コロナ禍で仕事は。

岡田さん 激減しましたが、パリ五輪から追加種目になるブレイクダンスの審査方法を探るプロジェクトへの参加、デビュー予定のアーティストの振付など、今、やれることに取り組んでいます。

——今後の抱負は。

岡田さん 安八町を拠点に国内外に向き、ワークショップを開催して、踊りの楽しさを伝えたいことと、自分自身の表現として、ピ

アノなどの即興演奏に合わせて踊るパフォーマンスを追求したいです。

——安八町に対して一言。

岡田さん スマートICが開通したことで、全国の友人たちに「安八町」を知ってもらえました。若い世代がいろいろな土地に行っても、安八町出身として誇りを持つことができる町へさらに発展してほしいです。



ダンス指導をするKAZMAさん



表紙の題字「あんぱち」は

あさの ゆうま
南條こども園 浅野 佑真 さん
あひる組 の作品です

合併65周年記念式典にて
功労者表彰受賞

令和2年11月22日開催された、合併65周年記念式典において、議会議員の部門で3人が表彰されました。



山中美恵子 議員



古澤 榮一元議員



野中 裕一郎 元議員

◆◆◆ 編集委員 ◆◆◆
委員長 岩田 譲治
副委員長 石原 英一
委員 大平 文雄
坂 渡邊 裕光

紙面の都合上、全議論を掲載できませんので、抜粋しています。

議会に関するご意見ご要望がありましたら、議会事務局までご一報ください。

TEL 議会事務局直通
0584-64-4931
FAX 0584-64-5011

E-mailでも受け付けています。
gikai@town.anpachi.gifu.jp